



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月2日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社
コード番号 4559 URL <https://www.zeria.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊部 充弘

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 西澤 知幸

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 2023年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	51,729	14.7	8,550	55.6	6,957	24.0	5,980	47.9
2022年3月期第3四半期	45,104	11.7	5,495	41.6	5,613	57.6	4,043	9.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 13,040百万円 (501.0%) 2022年3月期第3四半期 2,169百万円 (45.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	135.31	
2022年3月期第3四半期	89.33	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	137,076	65,989	48.0	1,489.11
2022年3月期	124,282	55,092	44.2	1,236.09

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 65,729百万円 2022年3月期 54,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		17.00		18.00	35.00
2023年3月期		18.00			
2023年3月期(予想)				20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	10.9	7,000	10.0	7,000	17.9	5,600	41.4	126.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	53,119,190 株	2022年3月期	53,119,190 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	8,978,982 株	2022年3月期	8,709,322 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	44,200,883 株	2022年3月期3Q	45,266,623 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 新薬パイプラインの状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は、517億29百万円（前年同四半期比14.7%増）となりました。利益につきましては、営業利益85億50百万円（前年同四半期比55.6%増）、経常利益69億57百万円（前年同四半期比24.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益59億80百万円（前年同四半期比47.9%増）となりました。営業利益と経常利益の前年同四半期比伸び率に大きな差が生じておりますが、これは前期には為替差益を計上したものの、当期はスイスフラン高の急激な進行により、海外子会社において多額の為替差損を計上したことによるものであります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、海外市場において高用量製剤「アサコール1600mg」の伸長を背景に好調に推移し、売上は増加いたしました。炎症性腸疾患（IBD）治療剤「エントコート」（国内販売名：「ゼンタコート」）につきましても、海外市場において、カナダ、北欧、イタリアなどで伸長し、売上は拡大いたしました。なお、昨年9月欧州の一部の国で後発医薬品が上市されたものの、現状その影響は軽微であります。また、クロストリジウム・ディフィシル感染症治療剤「ディフィクリア」につきましては、欧州の感染症診療ガイドラインで第一選択薬として推奨される中、営業リソースを積極的に投入した結果、売上を大きく拡大いたしました。「アコファイド」、「フェインジェクト」につきましては、それぞれ内視鏡実施医療機関、消化器科・産婦人科領域を中心に市場構築に努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、324億34百万円（前年同四半期比17.8%増）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

「ヘパリーゼ群」につきましては、未だ新型コロナウイルス感染拡大やインバウンド需要の激減などの影響を受けてはいるものの、医薬品ヘパリーゼ群・コンビニエンスストア向けヘパリーゼW群ともに回復基調となったことから、売上は大きく増加いたしました。「コンドロイチン群」につきましても、積極的な広告宣伝投資などの効果もあり、売上は堅調に推移いたしました。一方、植物性便秘薬「ウィズワン群」は、競合品の影響などにより、売上は減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、191億81百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は1億13百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,370億76百万円となり、前連結会計年度末対比127億94百万円の増加となりました。その内訳は流動資産が505億74百万円で、前連結会計年度末対比89億10百万円の増加、固定資産が865億2百万円で、前連結会計年度末対比38億83百万円の増加となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加48億81百万円、受取手形及び売掛金の増加38億11百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、有形固定資産の増加8億22百万円、無形固定資産の増加31億66百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は710億87百万円となり、前連結会計年度末対比18億97百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が480億88百万円で、前連結会計年度末対比38億95百万円の増加、固定負債が229億99百万円で、前連結会計年度末対比19億97百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、短期借入金の増加18億27百万円、未払法人税等の増加8億76百万円、未払金の増加等流動負債のその他の増加12億45百万円であります。固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少22億91百万円、契約解除損失引当金の増加3億49百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は659億89百万円となり、前連結会計年度末対比108億96百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上59億80百万円、前期末及び当中間期の配当の実施15億93百万円、為替換算調整勘定の増加70億83百万円等によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ3.8%上昇し、48.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、営業利益・親会社株主に帰属する四半期純利益が既に通期連結業績予想を上回っている状況にあります。

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、海外の医療用医薬品事業が計画以上に伸長しているものの、為替動向の影響や、原材料・エネルギー価格の高騰など経費面の精査が必要なため、2022年5月11日に公表いたしました業績予想を据え置いております。なお、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,704,282	16,586,161
受取手形及び売掛金	16,206,812	20,018,244
商品及び製品	6,721,583	6,776,737
仕掛品	1,409,684	1,086,716
原材料及び貯蔵品	3,819,276	4,628,472
その他	1,855,502	1,558,584
貸倒引当金	△53,425	△80,588
流動資産合計	41,663,717	50,574,328
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,655,232	6,440,401
土地	12,354,010	12,362,334
その他（純額）	4,130,101	5,158,621
有形固定資産合計	23,139,343	23,961,356
無形固定資産		
のれん	5,830,459	5,542,642
販売権	27,539,473	29,835,245
その他	7,836,095	8,994,667
無形固定資産合計	41,206,029	44,372,555
投資その他の資産		
投資有価証券	7,005,587	7,156,318
退職給付に係る資産	10,736,005	10,490,175
その他	583,595	568,594
貸倒引当金	△51,945	△46,851
投資その他の資産合計	18,273,242	18,168,236
固定資産合計	82,618,615	86,502,148
資産合計	124,282,333	137,076,476
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,049,590	2,567,315
短期借入金	33,842,933	35,670,518
未払法人税等	458,297	1,334,839
賞与引当金	1,530,935	958,250
その他	6,311,307	7,557,210
流動負債合計	44,193,063	48,088,134
固定負債		
長期借入金	18,385,860	16,094,690
契約解除損失引当金	490,142	839,851
退職給付に係る負債	1,073,819	1,104,487
資産除去債務	55,827	55,980
その他	4,991,146	4,904,274
固定負債合計	24,996,794	22,999,283
負債合計	69,189,858	71,087,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	48,860,697	53,247,567
自己株式	△17,593,074	△18,138,912
株主資本合計	49,546,143	53,387,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△193,416	△5,767
為替換算調整勘定	3,215,379	10,298,583
退職給付に係る調整累計額	2,326,536	2,049,651
その他の包括利益累計額合計	5,348,499	12,342,466
非支配株主持分	197,832	259,417
純資産合計	55,092,474	65,989,058
負債純資産合計	124,282,333	137,076,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	45,104,773	51,729,738
売上原価	13,279,666	14,480,435
売上総利益	31,825,106	37,249,303
販売費及び一般管理費	26,329,373	28,698,601
営業利益	5,495,732	8,550,701
営業外収益		
受取利息	11,252	35,835
受取配当金	190,851	226,956
為替差益	131,834	—
その他	65,437	61,925
営業外収益合計	399,376	324,716
営業外費用		
支払利息	232,304	265,520
為替差損	—	1,628,114
その他	49,612	23,855
営業外費用合計	281,916	1,917,490
経常利益	5,613,192	6,957,928
特別利益		
固定資産売却益	3,483	1,371
投資有価証券売却益	14,589	19,940
特別利益合計	18,072	21,312
特別損失		
固定資産除却損	4,002	3,736
契約解除損失引当金繰入額	—	235,935
特別損失合計	4,002	239,672
税金等調整前四半期純利益	5,627,262	6,739,567
法人税等	1,578,735	742,857
四半期純利益	4,048,526	5,996,710
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,937	15,866
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,043,589	5,980,843

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	4,048,526	5,996,710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△951,588	187,648
為替換算調整勘定	△438,971	7,132,651
退職給付に係る調整額	△488,181	△276,885
その他の包括利益合計	△1,878,741	7,043,414
四半期包括利益	2,169,784	13,040,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,150,406	12,974,810
非支配株主に係る四半期包括利益	19,378	65,313

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社子会社であるTillotts Pharma AGが保有する製品「エントコート」の商標権につきましては、耐用年数を確定できないことから非償却としておりましたが、欧州の一部の国で後発品が上市されたことから、今後ブランド維持が可能な期間として耐用年数を合理的に見積り償却を開始しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ139,452千円減少しております。

(追加情報)

法人税率の変更による影響

当社子会社Tillotts Pharma AGの本社所在地であるスイスの州において、法人税率の引き下げが行われました。引き下げ後の法人税率を用いて法人税の金額及び繰延税金負債の金額（繰延税金資産の金額を控除した金額）の見直しを行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の法人税等が774,138千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,529,565	17,455,657	44,985,222	119,551	45,104,773	—	45,104,773
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	96	96	443,481	443,578	△443,578	—
計	27,529,565	17,455,753	44,985,318	563,033	45,548,352	△443,578	45,104,773
セグメント利益	5,543,942	3,509,182	9,053,124	198,599	9,251,724	△3,755,991	5,495,732

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,755,991千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,434,601	19,181,759	51,616,360	113,377	51,729,738	—	51,729,738
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,784	105	2,890	379,294	382,185	△382,185	—
計	32,437,385	19,181,865	51,619,251	492,671	52,111,923	△382,185	51,729,738
セグメント利益	8,036,838	4,006,794	12,043,632	179,570	12,223,203	△3,672,502	8,550,701

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,672,502千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	32,434,601	17.8
コンシューマーヘルスケア事業	19,181,759	9.9
報告セグメント計	51,616,360	14.7
その他	113,377	△5.2
合 計	51,729,738	14.7

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

(2) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(2023年2月2日現在)

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
申請準備中	ZG-801/ パチロマーソルピテクスカルシウム	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性 ポリマー	導入品
フェーズⅢ	Z-338/アコチアミド	ゼリア	小児機能性ディス ペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ	ZG-802/アコチアミド	ゼリア	低活動膀胱	下部尿路機能改善作用	自社品
フェーズⅡ* (医師主導治験)	Z-338/アコチアミド	九州大学	食道胃接合部通過 障害	上部消化管運動改善作用	自社品

*:日本医療研究開発機構 (AMED) の助成事業に採択

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品
承認 (メキシコ、ホンジュ ラス、ドミニカ共和国)	Z-338/アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)
申請中 (チリ、コロンビア、 ペルー、エクアドル、 コスタリカ、グアテマ ラ、パナマ、ニカラグ ア、エルサルバドル)	Z-338/アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)
申請中 (タイ、インドネシア)	Z-338/アコチアミド	Meiji Seikaファルマ	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)